

# 温室効果ガス排出量 検証保証書

## 1. 検証の対象及び目的

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（以下「事業者」という。）が作成した「カーボンフットプリントの算定に関する手順書」による「公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 持続可能性大会前報告書（2020年3月30日発行予定）」の算定結果（以下「算定報告書」という。）に記載の以下の算定対象活動の温室効果ガス排出量情報に関して、事業者は、一般社団法人日本能率協会地球温暖化対策センター（以下「当協会」という。）に対し、限定的保証を目的とした検証を依頼した。

【東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の建設、運営、観客を算定対象とした改BAU、及び、対策実施後における温室効果ガス排出量】

- (1) 改BAU：特段の対策等を実施しなかった場合の算定  
（「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 持続可能性に配慮した運営計画第二版」（2018年6月）時点のBAUから更新された値）
- (2) 対策実施後：大会の建設や運営に関わる対策等の効果を考慮した算定

検証の目的は、事業者の算定ルールによる算定手順書に従って、正確に測定、算出されているかについて、独立の立場から結論を表明することである。温室効果ガス排出量を算定し、算定報告書を作成する責任は事業者にあり、当協会の責任は、独立の立場から算定報告書に記載された温室効果ガス排出量情報に対する結論を表明することにある。

## 2. 検証手続き

当協会は、ISO14064-3:2006 (Greenhouse gases-Part 3: Specification with guidance for the validation and verification of greenhouse gas assertions)の要求事項に従って検証を実施した。検証業務において行った手順の概要は以下のとおりである。

- ・算定報告書に記載の温室効果ガス排出量を決定するために用いられた情報に関する、算定方法、排出量算定システム、及び、関連資料の確認
- ・算定報告書の作成に関わる主な担当者へのインタビュー
- ・温室効果ガス排出量の正確性を確認するためにサンプリングによる根拠となる資料の確認

## 3. 検証の結論

算定報告書に記載された温室効果ガス排出量情報は、算定方法に従って、すべての重要な点において正確に測定、算出されていないと認められるような事項は発見されなかった。

以上

2020年2月14日

一般社団法人日本能率協会  
地球温暖化対策センター



検証された温室効果ガス排出量（単位：万 t-CO <sub>2</sub> ）		
区分	改BAU	対策実施後
建設	162.4	149.9
運営	52.7	37.4
観客	85.8	85.7
合計	300.9	273.0